

◇ 教科書 p.1~p.13

● 「データサイエンス」とは？

- ・ = ネットワーク上に蓄積される多量かつ多様なデータ
特徴：Volume（量）、Variety（多様性）、Velocity（速度）の3V
(例)スマートフォン、ポイントカード、人工衛星 etc...
- ・ = 日本が提唱する未来社会のコンセプト
(サイバー（仮想）空間と、フィジカル（現実）空間の融合による新たな社会)



データサイエンスとは……

データが社会に溢れるように遍在する時代において、典型的なビッグデータと限らず、あらゆる種類のデータを処理・分析して、そこから有用な情報（価値）を引き出すための学問分野

最近では、データは「」ともよばれるようになってきている。

→ 経済的な資源と考えられるようになってきている。

- ・ = 資源としてのデータの利用がイノベーション（技術革新）をもたらしている社会

資源としてのデータは、ためているだけでは価値を生まない。

→ 加工する技術をもつ必要がある。

《現状》現在の日本は、データを外国企業にとられ、また活用もされている状況。

→ **データサイエンティスト** の育成が求められる。

(情報学と統計学のスキルを用いて、文理を問わずあらゆる分野のデータを分析し、データから価値を引き出すことのできる人材)



- ・ (EBPM, Evidence Based Policy Making)

= データに基づく政策立案・評価

→ 最近では、企業や政府、自治体においても重視されてきている。

- ・ = コンピュータに人間の知的な行動をおこなわせる技術

→ 深層学習 (Deep Learning) 技術の急速な発展により注目されてきている。



現在ではデータを起点としたものの見方の有用性が強く認識される時代であるが、データに基づきつつ責任をもった判断を行うのは AI ではなく人間である。

→ データを適切に扱う方法を学んでいく必要がある。

【課題】

現在の日本における携帯電話の普及率（携帯電話契約数÷日本の人口）はどれくらいだろうか？

予想… () % ⇒ 実際は… () %

また、世界各国のスマートフォン普及率の推移を調べてみよう。